

[077_04]法政研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/19420>

出版情報：法政研究. 77 (4), 2011-03-10. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

九州大学法政学会

特別教育プログラム(一)

ロー・アンド・プラクティス講演会

二〇一〇年六月一八日(金)

「東アジアにおける国際規範の伝播―中国・日本による『保護する責任』受容・解釈の事例から」

講師 中野涼子(シンガポール国立大学日本研究学部助

教授)

二〇一〇年七月二八日(水)

「国際戦犯法廷の目的と機能」

講師 二村まどか(国連大学サステイナビリティと平和

研究所学術研究官)

二〇一〇年一月八日(月)

「産学連携の現代的課題」

講師 室田浩司(京都大学産官学連携本部バイオイン

キュベーションパートナーズ特任教授)

二〇一〇年一月一五日(月)

「進化」する国連平和維持活動」

講師 川端清隆(国際連合本部政務官)

二〇一〇年二月一四日(火)

「企業法務・知財の戦略とその実務」

講師 井上 修(日本ヒューレット・パッカード株式会社

社取締役執行役員法務コンプライアンス統括本部長)

二〇一〇年二月一七日(金)

「政治を変えるとはどういうことか―政権交代の意義と限界」

講師 山口二郎(北海道大学教授)

特別教育プログラム(二) LLPセミナー

法学部一年生向法律入門セミナー

講師 相島哲夫(弁護士)

蓑星 誠(福岡地方検察庁検察官)

松永栄治(福岡地方裁判所裁判官)

岩見将志(福岡地方検察庁検察官)

杉本正則(福岡地方裁判所裁判官)

野田部哲也(弁護士)

南場裕美子(福岡地方裁判所裁判官)

富山 敦(弁護士)

九州公法判例研究会

二〇一〇年度秋期研究会（二〇一〇年一〇月一六日）

「行政上の規範の多元性とその法的統制——国際金融

市場規制を素材として」

報告者 原田大樹（九州大学准教授）

社会法研究会

第三八六回 二〇一〇年四月三日（土）

「障害給付における所得・福祉サービス保障の制度間調

整」

報告者 平部康子（福岡県立大学）

「看護労働への労働法的アプローチ・序説」

報告者 大橋 将（日本赤十字九州国際看護大学）

第三八七回 二〇一〇年五月八日（土）

「賃金差別の時効と法的救済——アメリカ公正賃金法の制

定を契機に」

報告者 柳澤 武（名城大学）

「学生無年金障害者訴訟における公平と平等——『初診

日』の要件をめぐって」

報告者 細見佳子（九州大学大学院）

「地方分権と社会保障の将来像——所得保障改革と地方分

権」

報告者 石橋敏郎（熊本県立大学）

第三八八回 二〇一〇年六月五日（土）

「社会保障法理念とグローバル市場原理主義」

報告者 柴田 滋（国際医療福祉大学）

「ドイツ真正貸借労働関係と従業員代表法制との結節点

に関する基礎的考察」

報告者 中内 哲（熊本大学）

第三八九回 二〇一〇年七月三日（土）

「高齢化する雇用社会の政策立法とその私法的效果」

報告者 山下 昇（九州大学）

「介護保険事業者指定取消処分に係る行政裁量の統制に

ついて」

報告者 丸谷浩介（佐賀大学）

夏季特別合宿

（二日目） 二〇一〇年 八月二三日（日）

「社会保障財政の法学的考察」

報告者 伊奈川秀和（厚生労働省）

「失業補償給付における自己都合退職と解雇」

報告者 丸谷浩介(佐賀大学)

報告者 木村茂喜(西南女学院大学)
第三九〇回 二〇一〇年 一〇月二日(土)

「民法(債権法)改正と労働法」民法六二四条・六二五

「ドイツの雇用調整―日本との対比で―」

条・六二九条の意義」

報告者 藤内和公(岡山大学)

報告者 山下 昇(九州大学)

「労働法における労働権論の現代的展開」

(二日目) 二〇一〇年 八月三日(月)

報告者 有田謙司(専修大学)

「医療安全対策の展開と課題―医療サービスの質と安全

第三九一回 二〇一〇年 一月六日(土)

性の向上に向けて」

「説明を受けての選択の権利とその実地化」

報告者 原田啓一郎(駒澤大学)

報告者 高倉統一(熊本学園大学)

「提供体制に関わる法制度の変化と課題―医療計画を中

「労基法四条をめぐる法的課題」

心に」

報告者 林 弘子(福岡大学)

報告者 石田道彦(金沢大学)

「労働者による内部告発に関する法的諸問題の検討」

「社会福祉サービスの法的体系と構造・試論」

報告者 日野勝吾(東洋大学大学院)

報告者 山田 晋(明治学院大学)

第三九二回 二〇一〇年 二月四日(土)

「社会保障における権利擁護の将来像」

「地方分権改革における所得保障の将来―生活保護制度を中心にして」

報告者 西田和弘(岡山大学)

報告者 石橋敏郎(熊本県立大学)

(三日目) 二〇一〇年 八月二四日(火)

「年金保険における社会的調整―国庫負担を中心に―」

「三号被保険者制度廃止・縮小論の再検討」

報告者 田中秀一郎(岩手県立大学)

報告者 倉田賀世(熊本大学)

「児童福祉サービスにおける児童の地位と児童の意見表

「書評 倉田聡『社会保険の構造分析』(北大出版会、

明権の保障」

二〇〇九年)」

報告者 田中秀一郎 (岩手県立大学)

九州大学産業法研究会

第六〇九回例会 平成二二年四月一七日 (土)

(判例研究)

最判平成二二年四月一七日判時二〇四四号七四頁

「株式会社が取締役等の解任の訴えの係属中に当該株式会社
が破産手続き開始の決定を受けた場合における訴え
の利益の消長」

報告者 久保寛展 (福岡大学)

(研究報告)

「アメリカの反対株主の株式買取請求権について」

報告者 山崎淳司 (西南学院大学大学院)

第六一〇回例会 平成二二年五月一日 (土)

(判例研究)

東京高判平成二二年九月三〇日金判一三二七号一〇頁

「無催告失効条項と消費者契約法一〇条」

報告者 遠山 聡 (熊本大学)

(研究報告)

「加盟店の非行とクレジット既払金の返還」

参考判例①大津地判 (長浜支部) 平成二一年一〇月二

日消費者法ニュース八二号二〇六頁 ②名古屋高判平成

二二年二月一九日判時二〇四七号一二二頁

報告者 若色敦子 (熊本大学)

第六一一回例会 平成二二年六月二七日 (日)

(研究報告)

「フランチャイズ契約と独占禁止法―株式会社セブン・
イレブン・ジャパンに対する排除措置命令を素材として
―」

報告者 泉 日出男 (西日本短期大学)

(研究報告)

「ノーフォルト自動車保険の現状と課題」

報告者 佐野 誠 (福岡大学)

第六一二回例会 平成二二年七月二四日 (土)

(判例研究)

東京地判平成二二年三月三一日金判一三一五号二六頁

「日興コーディアルグループ株式買取価格申立事件」

報告者 田中慎一 (西南学院大学)

(判例研究)

大阪地判平成二二年八月三一日判時二〇七三号六九頁、

判タ一三一六号一八三頁

「破綻した信用協同組合の出資者が、同組合に対して、当該出資時に組合は債務超過状態にあることを告げずに出資勧誘したのは不法行為または債務不履行に当たるとして求めた損害賠償請求が認容された事例」

報告者 前越俊之（福岡大学）

第六一三回例会 平成二二年九月一八日（土）

〔判例研究〕

最二小判平成二二年七月一二日公判者未登載（最高裁

Web掲載、LEX/DB 25442404）

「会社分割に伴う労働契約承継の効力」

報告者 原 弘明（京都学園大学）

〔研究報告〕

「イギリスにおける企業組織再編制度―整理および改組制度と労働者の承継を中心に」

報告者 坂本達也（沖繩国際大学）

第六一四回例会 平成二二年一〇月一六日（土）

〔判例研究〕

福岡高決平成二二年六月一日金判一三二二号五四頁

「株主による会社に対する取締役会議事録閲覧・謄写請求について」

報告者 千手崇史（九州大学大学院）

〔研究報告〕

「NCCUSL（統一州法委員全米会議）におけるパートナーシップ型事業体の変遷と主な論点」

報告者 井上能孝（中村学園大学）

第六一五回例会 平成二二年一月二七日（土）

〔判例研究〕

最三小判平成二二年二月一七日判時二〇三八号一四四頁

「株式会社 of 従業員の譲り受けを受けた株式を個人的理由により売却する必要が生じたときは持株会が額面額でこれを買戻す旨の当該従業員と持株会との間の合意が有効とされた事例―日経新聞株式譲渡ルール事件上告審判決―」

報告者 石田 眞（富山大学）

〔判例研究〕

東京高裁平成二二年七月七日金判一三四七号一八頁

「株主総会決議により株主の地位を奪われた株主の当該決議取消訴訟の原告適格、および当該決議後の会社の吸収合併による消滅等により訴えの利益が消滅したとされた事例」

報告者 一ノ澤直人（西南学院大学）

第六一六回例会 平成二二年二月一八日（土）

〔判例研究〕

東京地決平成二二年七月二〇日金判一三四八号一四頁

「株主が委任状勧誘を目的として行った株主名簿の閲覧
謄写請求について、会社法一二五条三項所定の拒絶事由
があるということはできないとして、株主名簿の閲覧謄
写の仮処分が申立てが認められた事例」

報告者 久保田光昭（琉球大学）

〔研究報告〕

「監査役制度をめぐる最近の諸問題」

報告者 西山芳喜（九州大学）

第六一七回例会 平成二三年一月二二日（土）

〔判例研究〕

東京地判平成二二年五月二七日判時二〇八三号一四八頁

「新設分割会社が新設分割の対価として新設分割設立会
社の全株式を取得したとしても当該新設分割が新設分割
会社の債権者の債権者を害するものとされた事例」

報告者 山崎淳司（西南学院大学大学院）

〔判例研究〕

東京地決平成一八年二月一〇日判時一九二三号一三〇頁

「取締役会議事録の閲覧・謄写請求の対象の特定と備置
機関経過後の閲覧・謄写の可否」

報告者 清水円香（九州大学）

民事法研究会

第二三七回例会 二〇一〇年五月八日（土）

（博士論文進捗報告）

第一報告者 栗原秀郎（九州大学博士後期課程）

「目的不到達の不当利得について」

第二報告者 西内祐介（九州大学助教）

「越権代理における本人帰責要件の再構成―「禁反言に

よる代理」の理論構成の検討―」

第三報告者 菅尾 暁（九州大学助教）

「ローマ法における利息制限規律について」

第四報告者 采本剛史（九州大学博士後期課程）

「死因贈与と贈与制度における意思の変更について」

第二三八回例会 二〇一〇年七月一〇日（土）

〔判例研究〕

報告者 田中教雄（九州大学教授）

「民事調停法一七条に基づく調停に代わる決定と錯誤」

（修士論文構想発表）

報告者 田畑嘉洋（九州大学修士課程）

「瑕疵担保責任における瑕疵と買主の契約目的の關係に
関する考察」ドイツにおける瑕疵概念の変遷を中心と
して」

第二三九回例会 二〇一〇年九月一日（土）

（研究報告）

第一報告者 中山布紗（北九州市立大学准教授）

「権利の実体と異なる外観作出に関する帰責性の判断基
準—民法九四条二項および同一一〇条の類推適用が認め
られた事例群の再検討」

第二報告者 有川哲夫（福岡大学名誉教授）

「校閲・川島武宜『所有権法の理論』（初版、一九四九
年）第四章第二節物権取引法—実体的不動産登記法の
観点から」

第二四〇回例会 二〇一〇年一〇月三〇日（土）

（博士論文進捗報告）

第一報告者 西内祐介（九州大学助教）

「越権代理における本人帰責要件—「禁反言による代理
（agency by estoppel）」の理論構成の可能性—」

第二報告者 菅尾 暁（九州大学助教）

「ローマ法における利息制限規律について」

第二四一回例会 二〇一〇年二月四日（土）

（研究報告）

報告者 田中教雄（九州大学）

「民法四一五条の「責めに帰すべき事由」に関する「判
例の分析」について」

（判例報告）

報告者 赤松秀岳（九州大学）

「共有者の一部の者による登記更正請求が認められた事
例」

民事手続研究会

【研究報告】

平成二二年二月一三日（土）

共有者の共同訴訟の必要性と共有者の訴権の保障

鶴田 滋（九州大学）

福岡における民事訴訟の現状と問題—福岡プラクティス研
究会での検討を踏まえて—

黒木和彰（弁護士）

平成二二年一〇月二三日（土）

当事者論における当事者権序説

松原弘信（熊本大学）

民事訴訟における当事者の誠実義務

濱崎 録 (熊本大学)

平成二二年一月一三日 (土)

相続権不存在確認訴訟における共同相続人の共同訴訟の必要性―最判平成二二年三月一六日家月六二卷九号五二頁、判タ一三二五号八二頁、判時二〇八一号一二頁 (民集六四卷二号四九八頁) の検討を中心に―

鶴田 滋 (九州大学)

当事者の情報・証拠開示義務の正当化根拠―事案説明義務の根拠論を中心に―

安井英俊 (福岡大学)

福岡民事訴訟判例研究会

【判例研究】

平成二二年一月二二日 (金)

ICレコーダーによりデジタル録音された音声データの証拠価値について、第一審と異なる判断をした事例 (東京高判平成二二年三月二七日)

古賀大督 (福岡地裁)

平成二二年二月二六日 (金)

宗教法人の所有する土地についての明渡しを求める訴えが『法律上の争訟』に当たらないとされた事例 (最三小判平二一・九・一五裁判所時報一四九二号一六頁、判例タイムズ一三〇八号一七頁)

濱崎 録 (熊本大学)

平成二二年五月二一日 (金)

裁判官個人に対する損害賠償請求訴訟における裁判官提出の答弁書の「因縁をつけて金をせびる」旨の記載について、措辞として甚だ適切を欠くが、訴訟行為として相当性を欠くと断定し難いとし、名誉毀損の成立が認められなかった事例 (東京高判平一六・二・二五判時一八五六号九九頁)

阿保賢祐 (福岡地裁)

平成二二年六月一一日 (金)

特許を受ける権利の確認訴訟において、同訴訟の係属後被告から同権利の共有持分を譲り受けたと主張する者が、被告側に共同訴訟参加することの可否 (東京地判平一九・六・二七判タ一二七九号三二二頁)

鶴田 滋 (九州大学)

平成二二年七月一六日 (金)

反訴請求債権を自働債権とし本訴請求債権を受働債権とする相殺の抗弁の許否 (最二小判平成一八年四月一四日民集

六〇卷四号一四九七頁)

林 漢瑛 (福岡地裁)

平成二二年九月一七日 (金)

株式会社の取締役等の解任又は選任を内容とする株主総会決議不存確認の訴えの係属中に当該株式会社が破産手続開始の決定を受けた場合における訴えの利益の消長 (最一小判平二一・四・一七判時二〇四四号七四頁、判タ一二九七号一二四頁、金判一三二二一五頁、金法一八七八号三九頁)

村田治彦 (宮崎産業経営大学)

平成二二年一〇月二二日 (金)

釈明権不行使による法令違反を理由に、原判決を破棄差戻した事例 (最一小判平成二二・六・二九)

北川幸代 (福岡地裁)

平成二二年二月一七日 (金)

本訴の提起が不法行為に当たることを理由とする反訴について、本訴に係る請求原因事実と相反することとなる本訴原告自らが行った事実を積極的に認定しながら、本訴の提起に係る不法行為の成立を否定した原審の判断に違法があるとされた事例 (最一小判平二二・七・九裁時一五一号二三四頁)

堀野 出 (九州大学)

【合同判例研究会】

平成二二年一月一六日 (火)

財産全部を相続させる遺言がある場合の遺留分侵害額算定における相続債務額の加算 (最一小判平二一・三・二四民集六三卷三号四二七頁)

森野俊彦 (福岡高裁)

九州国際私法研究会

第三三回九州国際私法研究会 (二〇一〇年五月二九日)

第一報告「国際民事紛争と著作者人格権——X〇醬男と杏仁女 (東京地判平成十六年五月三一日) 事件の検討を通して」

報告者 羽賀由利子 (九州大学大学院法学府博士課程)

第二報告「信託準拠法に関する考察」

報告者 八並 廉 (九州大学大学院法学府 LL.D. プログラム・日本学術振興会特別研究員 DC)

第三四回九州国際私法研究会 (二〇一〇年九月六日)

第一報告「国際私法における人格権侵害——欧州にお

る議論を中心に」

報告者 羽賀由利子（九州大学大学院法学府博士課

程）

第二報告「国際知的財産権侵害と証拠保全」

報告者 多田 望（熊本大学教授）

第三五回九州国際私法研究会（二〇一〇年一〇月三〇日）

第一報告「判例評釈」「外国著作権を対象とする信託契
約と準拠法（東京地判平成二二年二月一〇日）」

報告者 八並 廉（九州大学大学院法学府 LL.D.プロ
グラム・日本学術振興会特別研究員 DC）

第二報告「判例評釈」「著作権の侵害に基づく損害賠償
請求の準拠法（東京地判平成二二年十一月二六日）」

報告者 羽賀由利子（九州大学大学院法学府博士課
程）

第三六回九州国際私法研究会（二〇一〇年十二月二五日）

第一報告「代理母に関する外国裁判の承認についての問
題点——主に民訴法一一八条柱書および一号要件につ
いて」

報告者 釜谷真史（西南大学准教授）

第二報告「ハーグ信託条約と日本」

報告者 八並 廉（九州大学大学院法学府 LL.D.プロ

グラム・日本学術振興会特別研究員 DC）

政治研究会

二〇一〇年四月一七日（土）

『政治研究』第五七号合評会

総会

二〇一〇年五月一五日（土）

「試論・「国際共同体」という観念の検証——「政治的実
体」足りうるか？」

報告者 大庭弘継（南山大学社会倫理研究所研究員）

「リベラル・ナショナリズムの国際秩序構想——D・ミラー

の議論の批判的検討を手がかりとして——」

報告者 施 光恒（九州大学大学院比較社会文化研究院

准教授）

二〇一〇年六月一九日（土）

「韓国「民主化」の再検討——対立から和解へ——」

報告者 木村 貴（九州大学大学院法学研究院助教）

「国際関係論と帝国論——矢内原忠雄の思想と現代——」

報告者 中野涼子（シンガポール国立大学）

二〇一〇年七月一七日（土）

「小泉純一郎政権と世論研究―二〇〇五年郵政選挙前後の日本論壇における主張の比較検討―」

報告者 吉田健一（鹿児島大学稲盛アカデミー）

「ジョン・ロックの政教分離論」

報告者 朝倉拓郎（九州大学法学研究院協力研究員）

二〇一〇年九月一八日（土）

日本国際政治学会若手・院生研究者コーカス九州地区主催九州大学政治研究会共催

「第三回トランスボーダー研究会」（兼 政治研究会九月例会）

個人研究報告セッション

「冷戦後対中国認識をめぐる変化―中国脅威論からの脱却に向けて―」

報告者 森實麻子（九州産業大学非常勤講師）

コメンテーター 益尾知佐子（九州大学大学院比較社会

文化研究院准教授）

「戦後史における被爆者と『復興』の問題をめぐるつて―広島と長崎―」

報告者 桐谷多恵子（広島市立大学広島平和研究所講

師）

コメンテーター 直野章子（九州大学大学院比較社会文

化研究院准教授）

共通論題セッション

テーマ「歴史学と国際関係学の架橋―日露関係史の観点から―」

「二〇世紀初頭の国際関係と一九一六年の日露秘密同盟」

報告者 バルイシエフ・エドワルド（島根県立大学北東アジア地域研究センター嘱託助手）

「歴史学と国際関係理論の越境的対話―日露同盟研究と新古典的現実主義を手がかりに―」

報告者 松井康浩（九州大学大学院比較社会文化研究院

教授）

コメンテーター 中島琢磨（日本学術振興会特別研究員）

二〇一〇年一〇月一六日（土）

「日本陸軍の対満政策―満洲事変の再検討―」

報告者 後藤啓倫（九州大学大学院法学府博士後期課程）

「イタリア・ナシヨナリストの地方組織の動向―国民ファシスト党との合同をめぐるつて―」

報告者 西 貴倫（九州大学大学院法学府博士後期課

二〇一〇年一月二〇日（土）

「政治改革とカルテル政党―政党政治の変容と危機―」

報告者 篠原 新（九州大学大学院法学府博士後期課程）

「『帝国』論の系譜―西洋政治思想史の観点から―」

報告者 木村俊道（九州大学大学院法学研究院准教授）

二〇一〇年二月一八日（土）

「選挙制度の政治理論」

報告者 岡崎晴輝（九州大学大学院法学研究院教授）

「民主党政権における政策形成―改革をめぐる継続と転

換―」

報告者 山口二郎（北海道大学大学院法学研究科教授）